

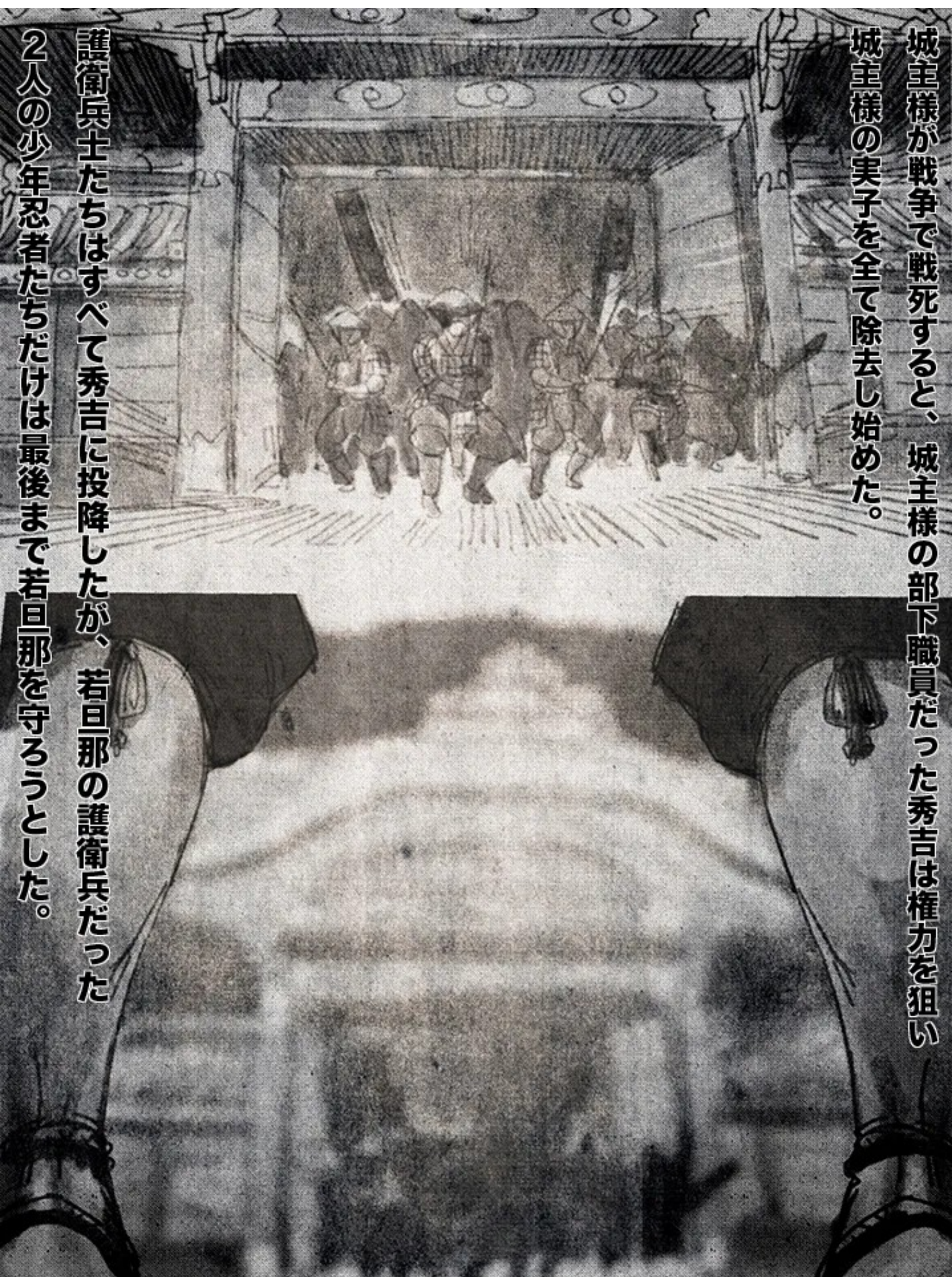
少年忍者討伐

NINJA BOY DESTRUCTION



城主様が戦争で戦死すると、城主様の部下職員だった秀吉は権力を狙い
城主様の実子を全て除去し始めた。

護衛兵士たちはすべて秀吉に投降したが、若旦那の護衛兵だった
2人の少年忍者たちだけは最後まで若旦那を守ろうとした。



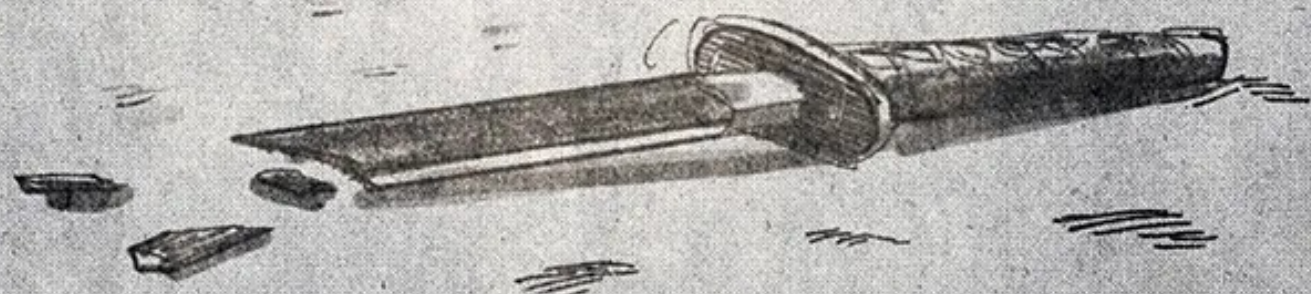
彼らはその逃げたが、意外にも追撃の速度が
早くて彼らをはぐらかしことができなさそうだった。



さらに近いうちに若旦那の体力もそろそろ限界であるようだった。
結局、少年忍者の一人が残って追撃者らの足を結ぶことにした。



優れた戦闘の実力の少年忍者は単身で数多くの追撃者らをやっつけ
和子はその隙に無事に追撃範囲から脱することができたが
1人で勇敢に戦った少年忍者は結局
追撃者らに取り付かれてしまった。



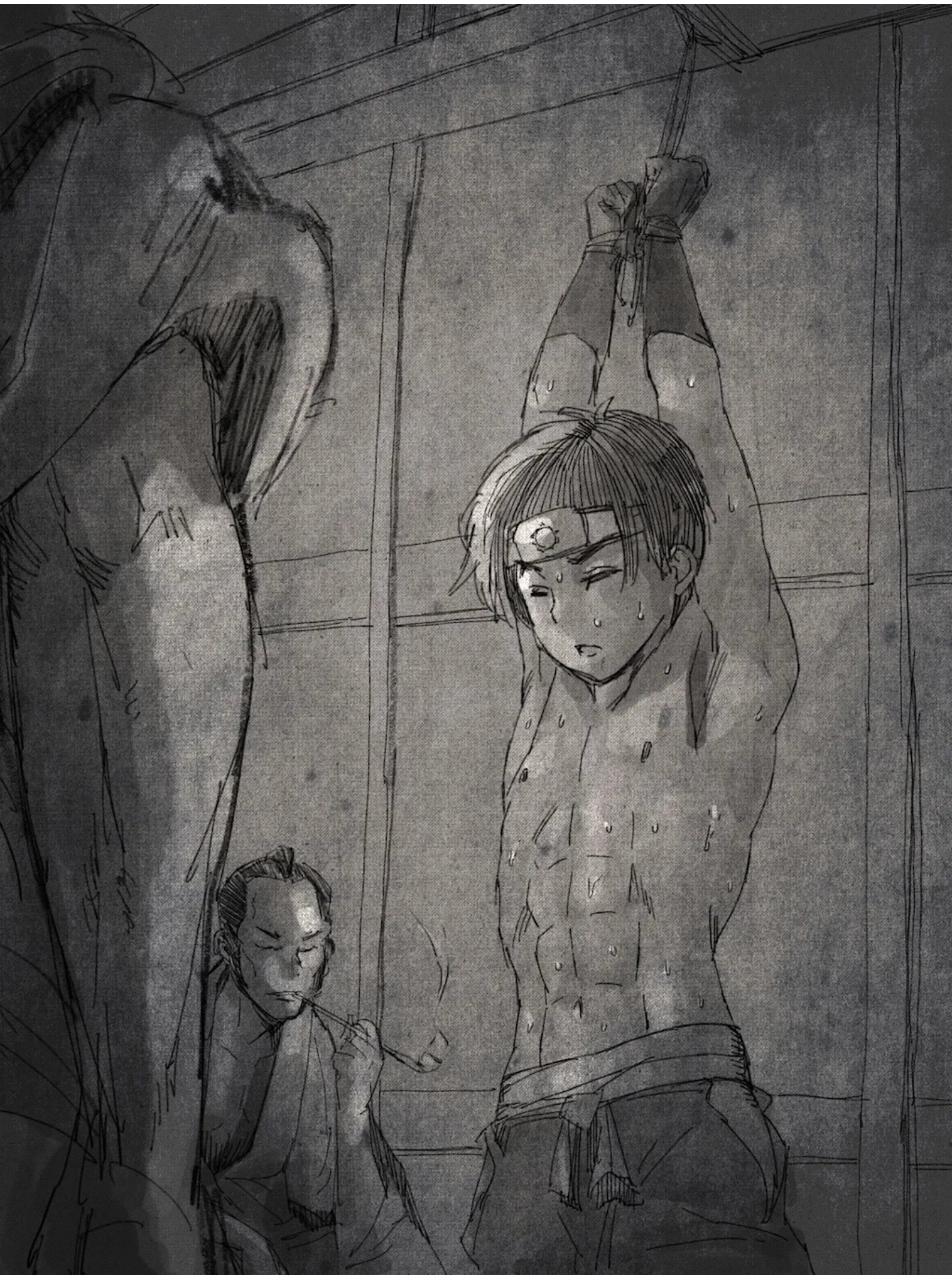
遅れて到着した秀吉は…



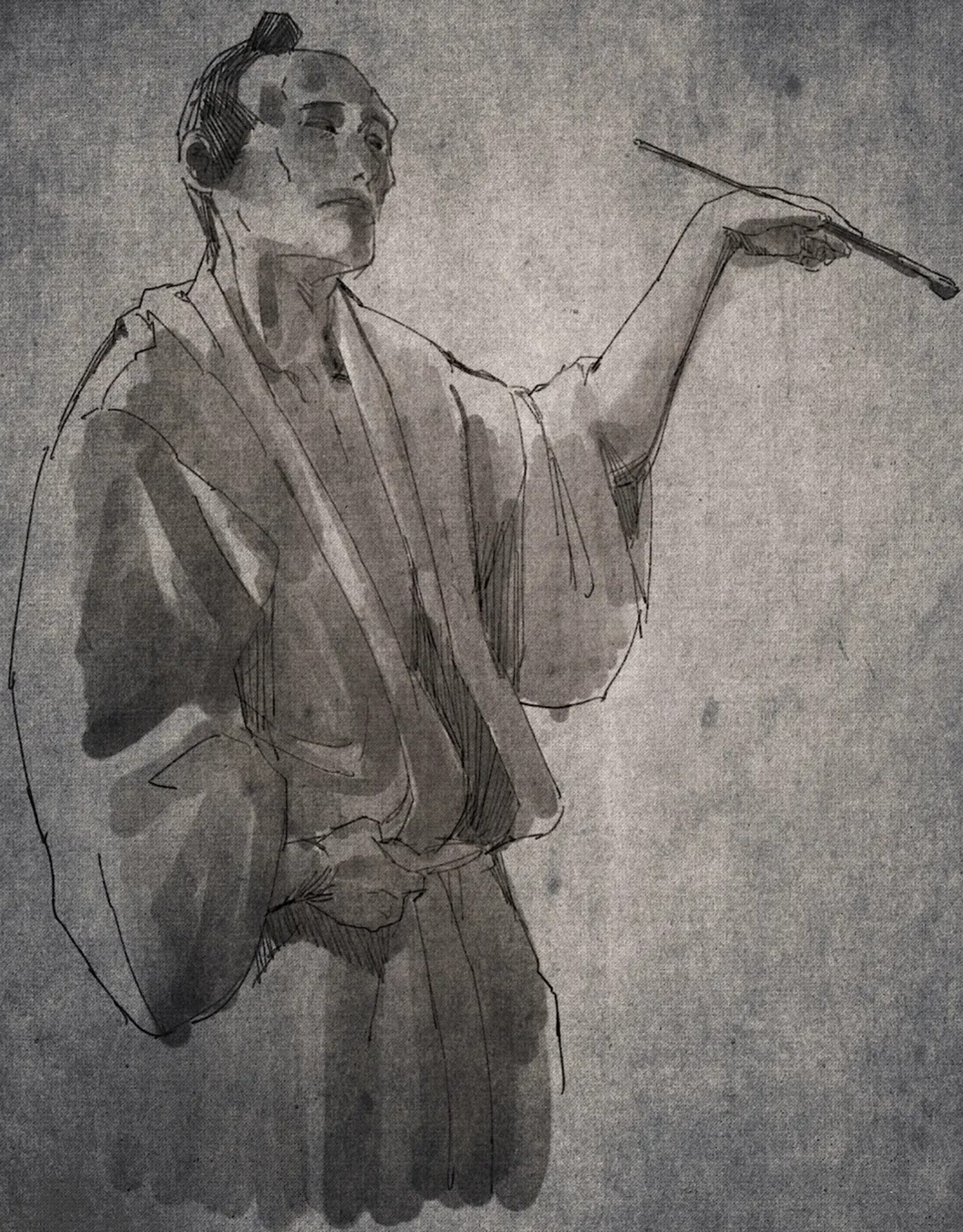
捕縛された少年忍者を見つめながら
陰険な微笑を示した。

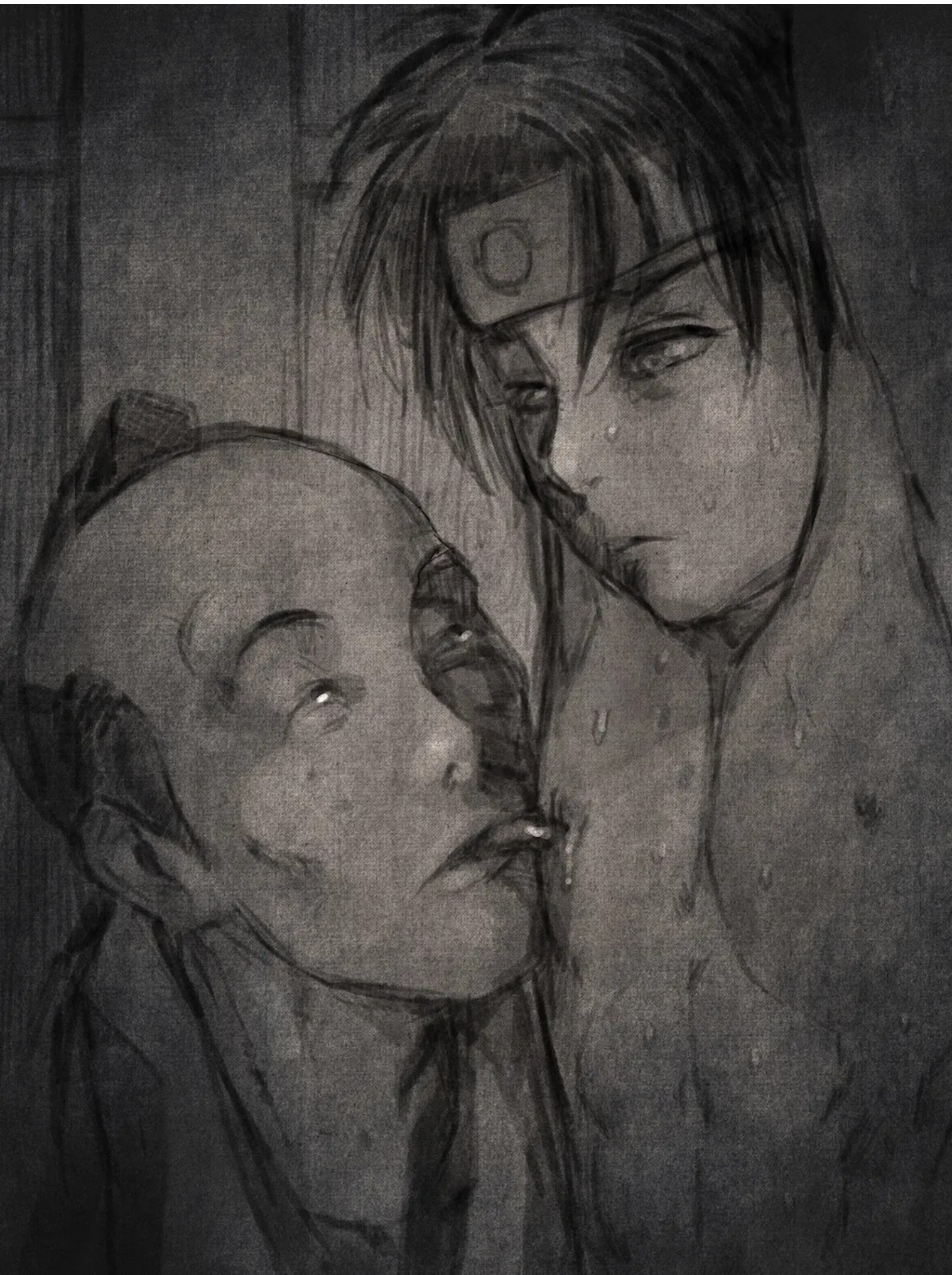
「こいつから若旦那の避難先に対する情報を
挙げなければならない、こいつを拷問する準備をしろ!」











どっしー？おれの始終になるのか？

おおー！そっだー！

はい…吐います。

おぼっちゃまの潜伏先は…



声が出ないから、もう少し近く寄ってください

分かった！

おぼっちゃまの潜伏先は…

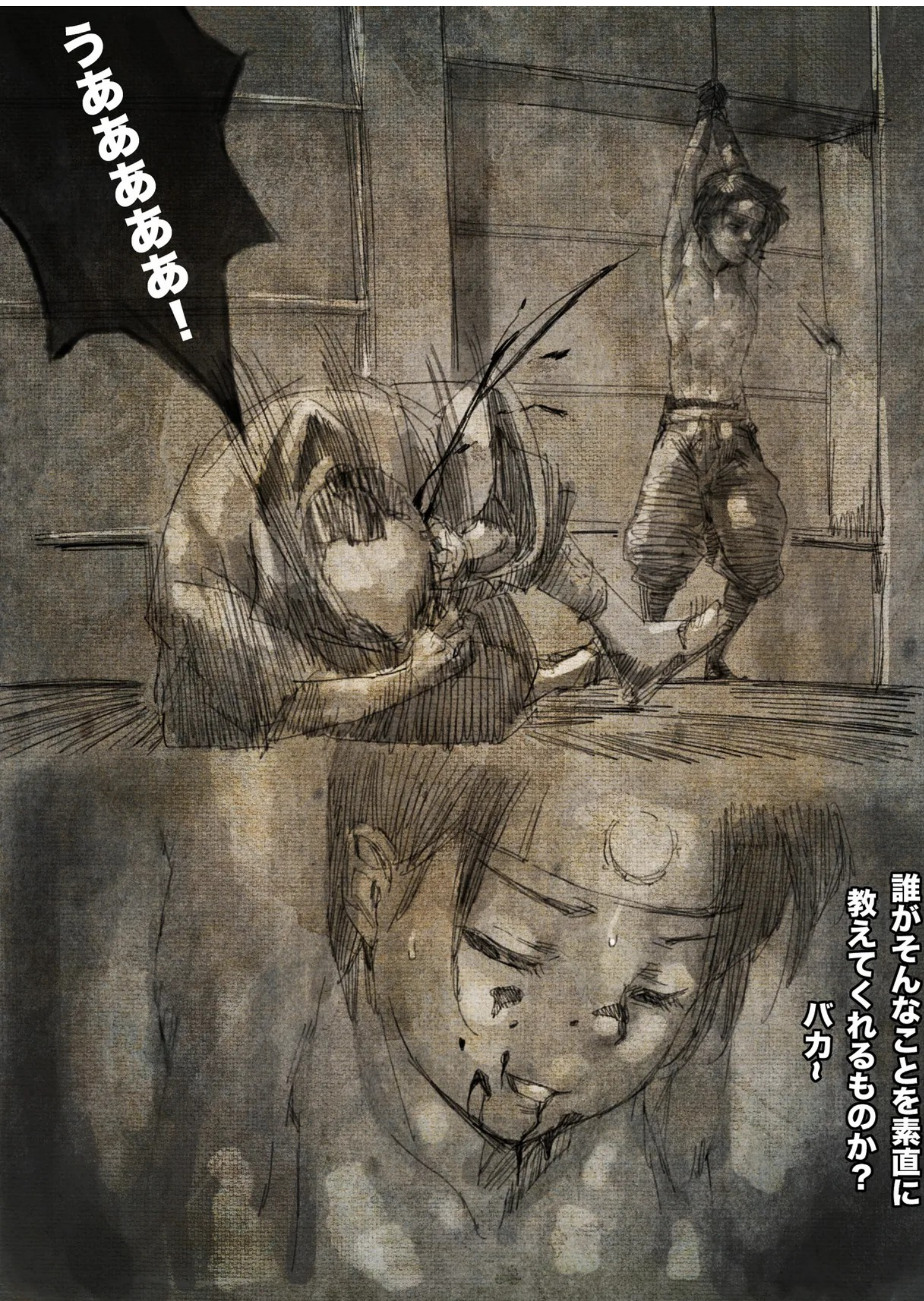
うん、





うあああああー!

誰がそんなことを素直に
教えてくれるのか?
バカ!



きさま…

覚悟するのがいいだ！

許さない…

いっそ殺してくださいと、

おれに哀願することになるだろう。



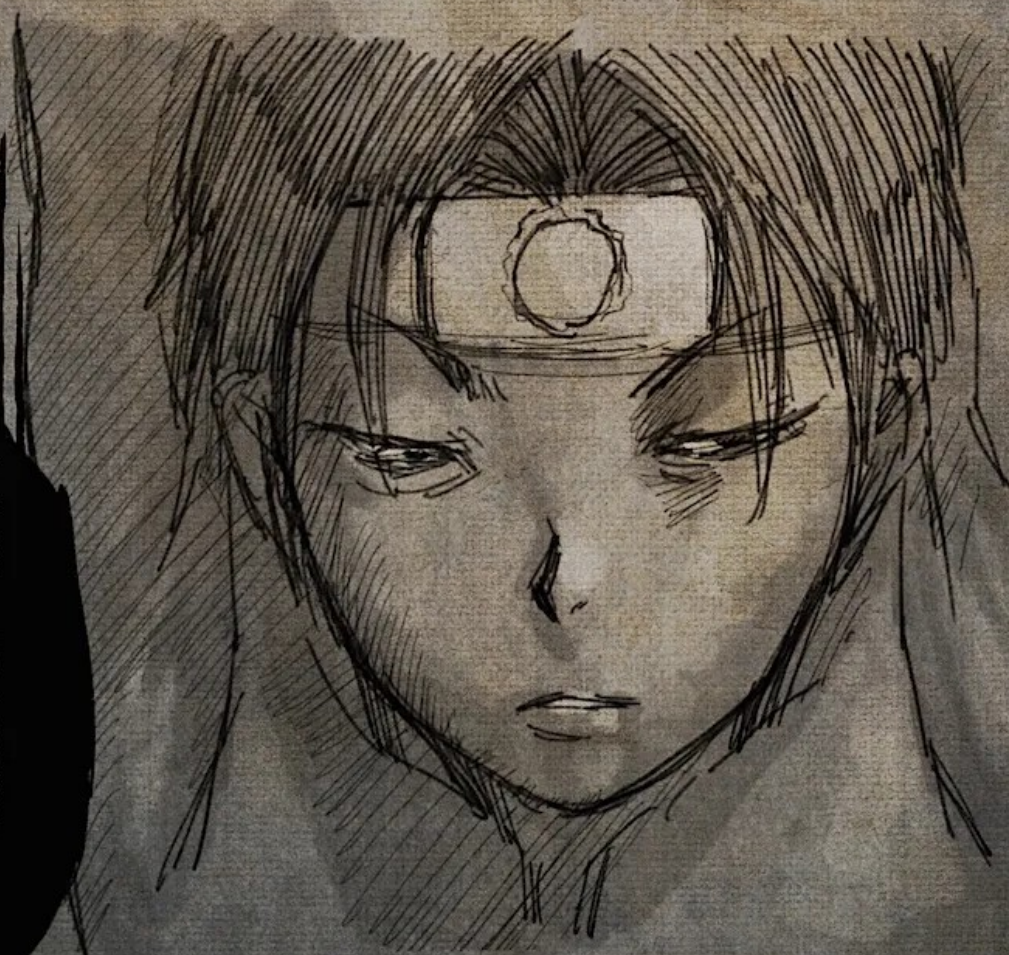
落ち着きなさい
あなたが怒りにまかせて
自らを殺すことを
こいつは狙っている。

おまえは…
狐面…



こいつが死に急ぐのは
拷問されることを
恐れているからだ。

しかし、こいつは死を
も恐れない忍だ。
普通のやり方では無駄だろう…



殺さずに極限まで追い詰める手は
幾らでもある。

ただ、それには長い時間が必要だ…
なかなか厄介な問題だな。



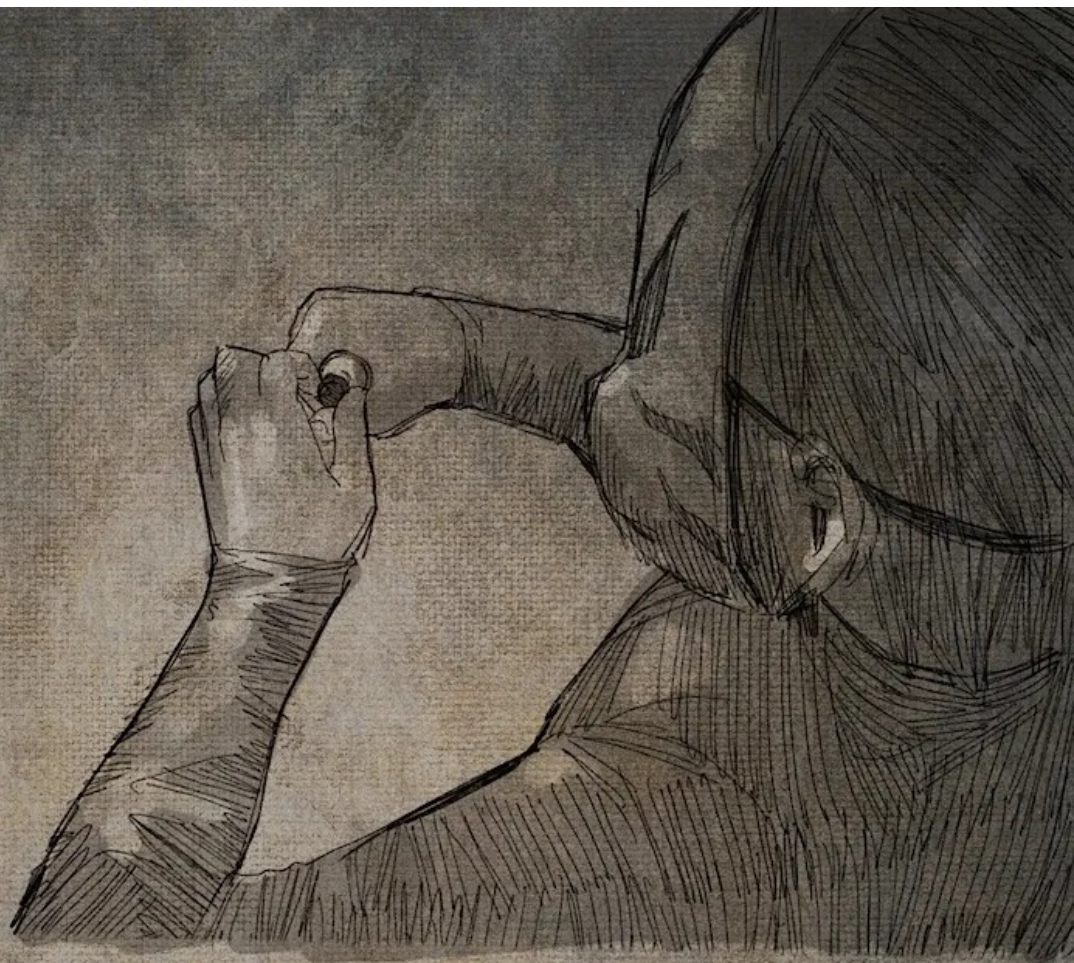
はは…そんな方法があるのか。
さっさと諦めて、殺せ…

しかし、まだこの若さで
ここまでの逸材も珍しい。



何とか生かしたまま
肉体も壊さずに俺のモノにしたい。
こうなれば奥の手を使うしかないな…

先祖から受け継いで
熟成させてきたこの催淫剤……
こんな場面で、ましてや少年相手に
使う事になるとは。



この小瓶一つで気が
狂うほどの効果があると聞くが
この強靱な精神の持ち主に
使うとどうなるか……





忍相手に自白剤が
通じるとでも
思っているのか？

相変わらず威勢は良いな…
むしろ、その方が
この秘薬の効果の
確認のし甲斐がある



ゲホッ!

ゲホッ!



んっ...

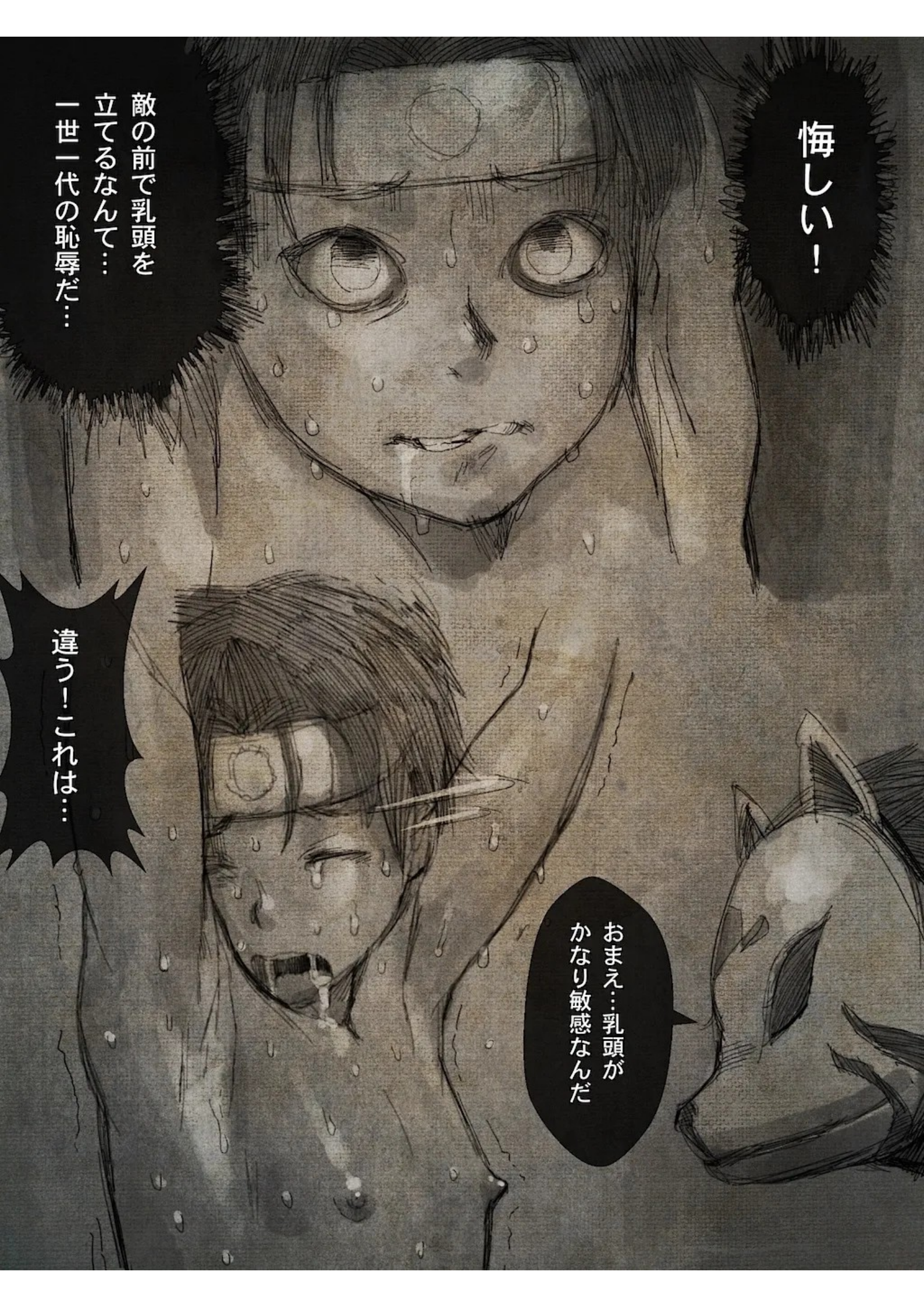


うっ…!
アツツ！体が熱い！

うあああああ！

ダ…ダメ…
乳頭が勝手に!?

ヒッ！

A manga-style illustration featuring a character with a forehead band and a fox mask. The character's face is the central focus, showing a pained expression with sweat or tears. A fox mask is visible in the lower right corner. The background is dark and textured.

悔しい！

敵の前で乳頭を
立てるなんて…
一世一代の恥辱だ…

違う…これは…

おまえ…乳頭が
かなり敏感なんだ



まだ持ちこたえているが
もうそろそろ嗅覚が
鋭敏になるのだ。

精神を集中して、無心を保ちたいが出来ない。
何故か頭に浮らな事しか浮かばない…
頭が可笑しくなってしまったのか？



ふあっ

今度は勃起が止まらない。
敵にそんな姿を見られている
辱めを受けていると思うと
ますます興奮してしまう…

左上のセリフ

こんなところに

酷く欲情する匂いが…

もう耐えられない
自慰させてくれ！

忍がこの絶体絶命な状況の中で自らの体臭で欲情するとは……
流石、秘薬中の秘薬。こいつに使ったのは正解だった……

こいつが俺のモノになるまで、時間はかからないだろう。
それまで精神が持ちこたえれば良いが……





ちくしょくそガキが…
この体の耳を…許さない！

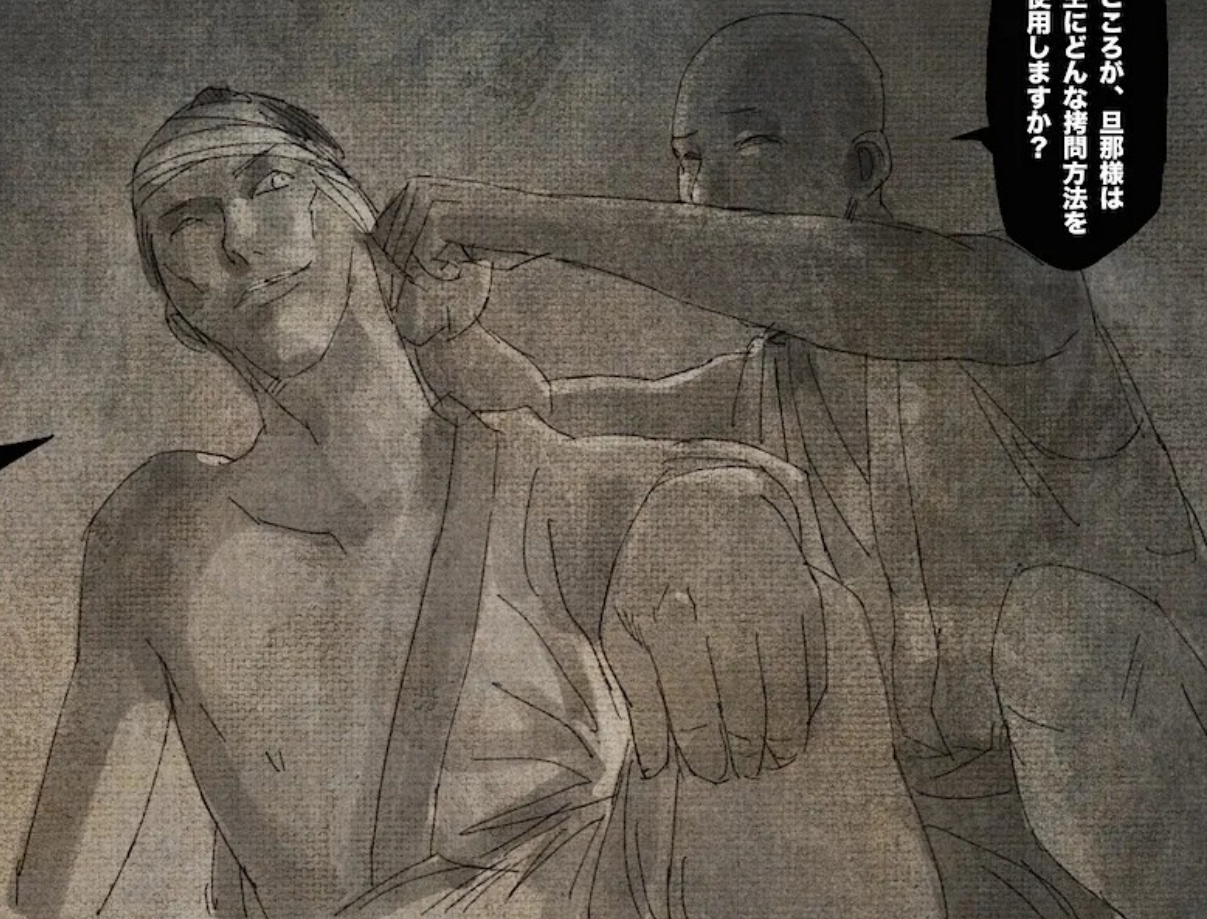
必ず殺してしまおう！

だけど
あいつ狐面様に
拷問されている中で
はないですか？

狐面様に手に落ちた以上、すでに白状してしまったかもしれませんが
その方の残酷さは人間のレベルがないからね…



ところが、旦那様は
主にどんな拷問方法を
使用しますか？



ああ、このおれは幼い頃に
西洋に留学に行ってきた
それで西洋の拷問テクニクも
よく知ってるよ！
あいつには何がいいかな…
うーん…

沸いている油で全身を
フライするのがいいかな？
すぐに死んでしまうだろうが
苦痛の数値だけは最高だから



そのにくいやつが生きたまま沸いている
油にフライしながらゆっくり
死んでいく光景を見たい！

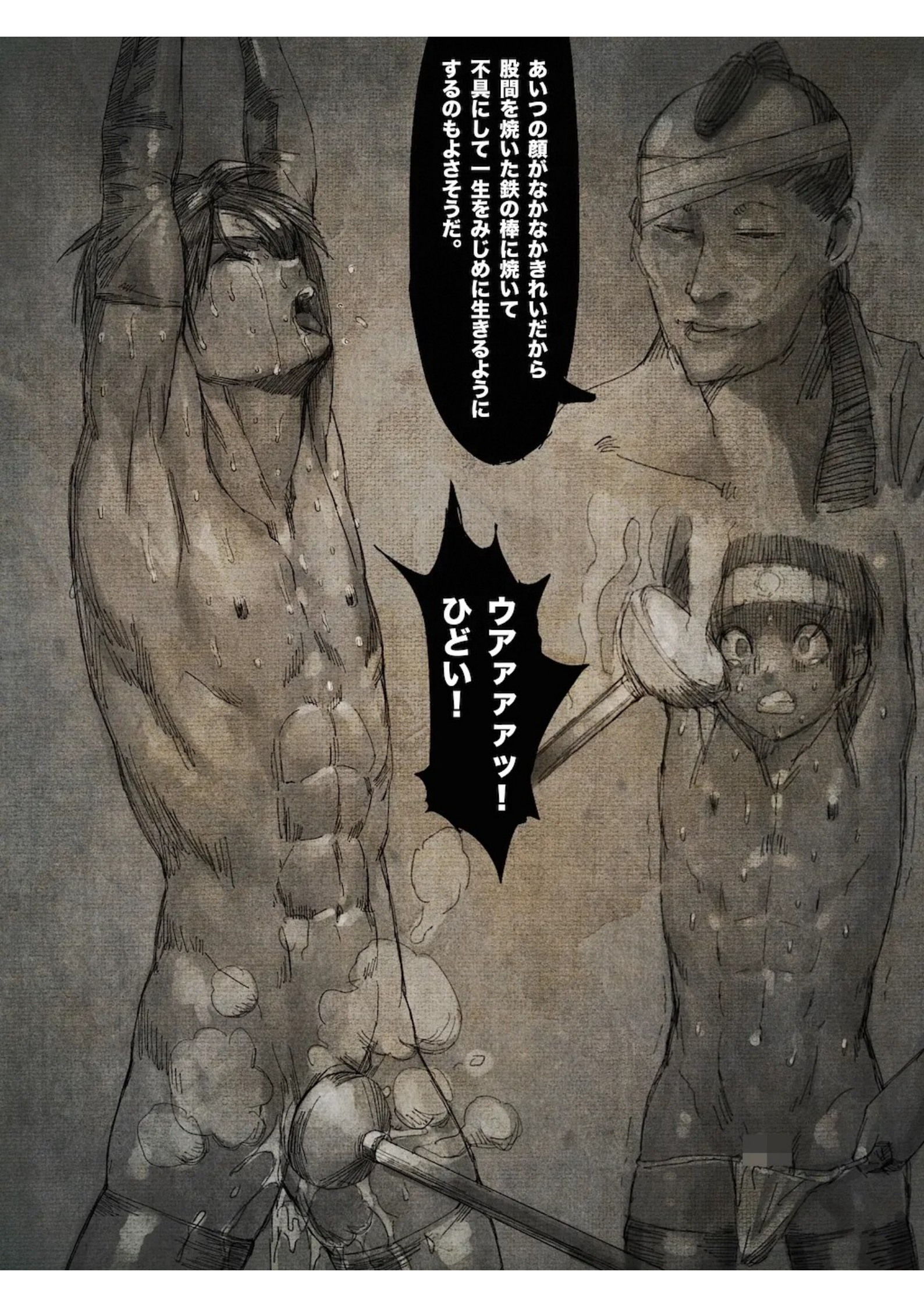
やはり、あっけなく早く
殺すんはもったいないから
三角木馬で脊椎を粉碎しながら
全身を鞭をする拷問もいいね
それなら一週間ほどは
持ちこたえてくれるでしょう？

人間焼きてーやっぱり
旦那様はすごいです！

ヒィィ…

キヤアアアア！

もうー！
許してくれ！



あいつの顔がなかなかきれいだから
股間を焼いた鉄の棒に焼いて
不具にして一生をみじめに生きるように
するのよさそうだ。

ウアアアツ!
ひどい!

水を強制的にいっぱい食べさせて
腹部を殴って吐いてすることを
数十回反復するのいい
丈夫によく鍛えられた腹筋も
このような拷問には対抗
できないから…

んっ！
んっ！

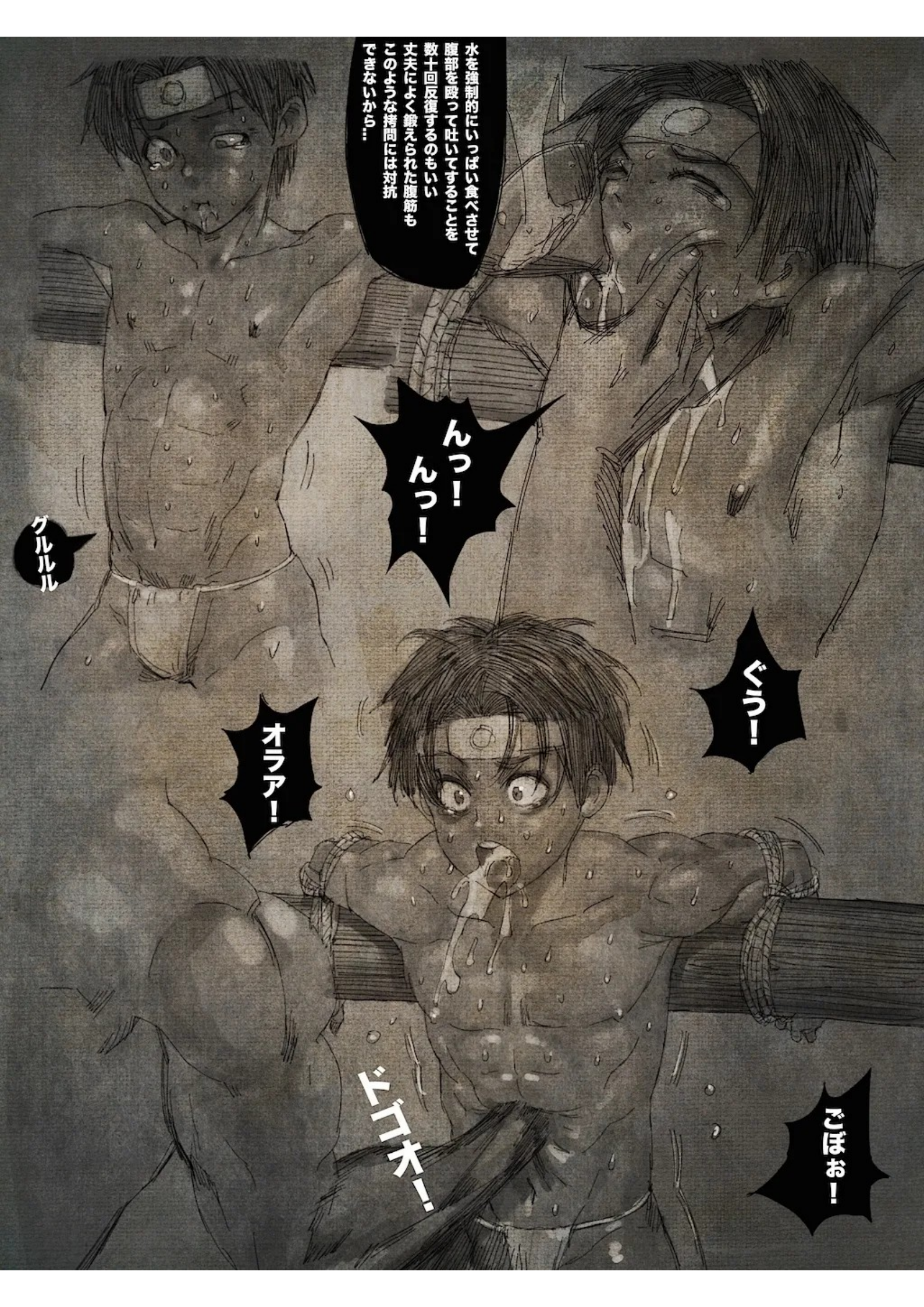
オラア！

ぐっ！

ぐっ！

ズゴォー！

グルルル



もし素直に屈服するとしても
絶対許してくれる考えはない。
最大限屈辱的な格好で思い切って
困らせるのもいいだろう。

思ったよりかわいい顔に立派な
体型の奴だから、苦しめている
かいているのだ。へへへ...

ガムシー！

ひっ！



しかし、やつは忍者
きつと顧問を耐える
訓練も受けたでしょう

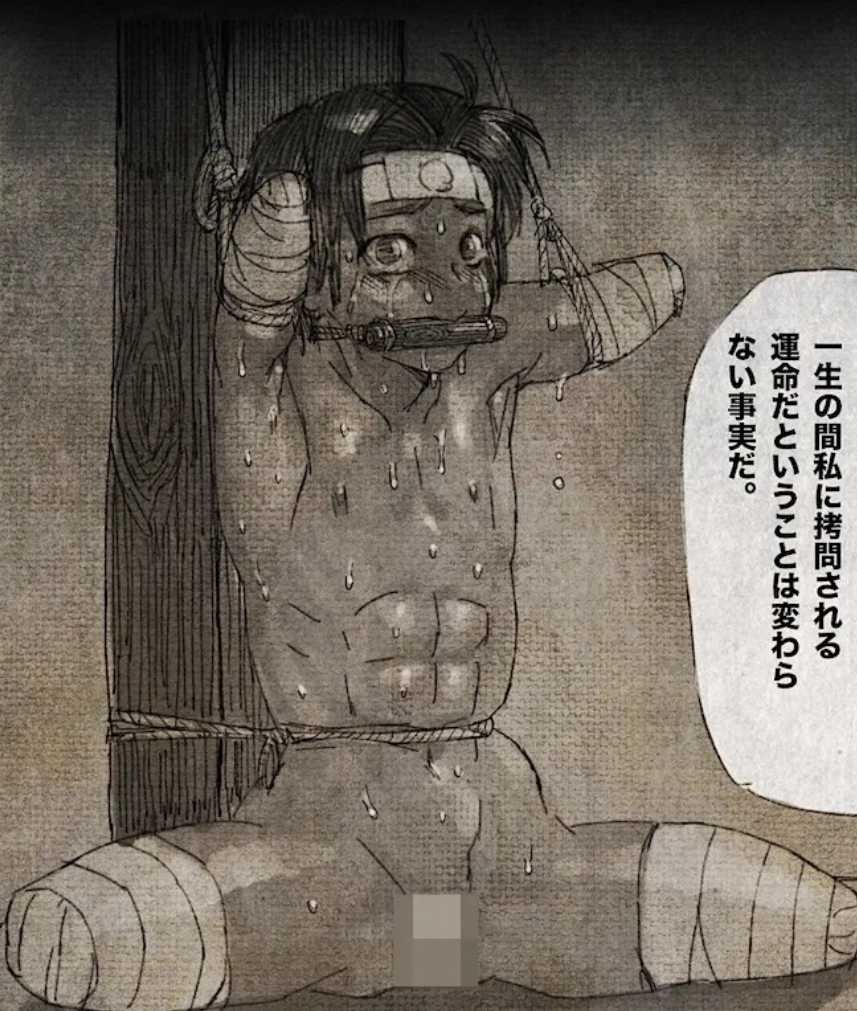
そのように簡単に
屈服しないんです

そう、あのやつは生きたままつかまれば
地獄の拷問されるようになるという
事実を知っているながらも、自分の主が
逃げる時間を少しでも増やすために
生きたままとして逮捕される方を
選択した。

おまえたちのつまらない拷問な
どは怖くない！

侮れないやつだ…



A man with dark hair is tied to a tree trunk with ropes. His mouth is gagged with a thick wooden block. He is sweating profusely, with droplets visible on his face and torso. His arms are also bound with ropes.

とにかくあいつは住んでも
死ぬこともできない不具になって
一生の間私に拷問される
運命だということは変わら
ない事実だ。

A close-up of a man's face. He has a wooden gag in his mouth and is looking upwards with a desperate, fearful expression. His face is wet with sweat or tears.

くくく、期待になったな…
治療もが全部終わったから
じゃあ、そろそろ拷問室に
戻ろう



だが、彼の期待に反して、少年忍者はむしろ
過度な快楽ともがいていた。



同じ時間：
性内郭の拷問室

はっ...
はあ...

はあ...
はっ...

A manga-style illustration of a character with a mask and a large sweat drop. The character is wearing a mask with a small, dark, triangular shape on the forehead and a small, dark, circular shape on the nose. The character's hair is spiky and dark. The character is wearing a dark, textured garment. A large, dark, teardrop-shaped sweat drop is falling from the character's forehead. The background is dark and textured. The overall style is dark and moody.

1時間程度過ぎたかどうか？ いまだに理性を維持するとはさすがに大したものだね。しかし、もう薬の効果が絶頂に達した時点だ。このすごい汗の量、もう君の体は快楽を渴望し燃えている…

うっ…

ギョオッ

ぎゅー

ひゅー！
ひゅー！

そろそろ限界のような感じだね

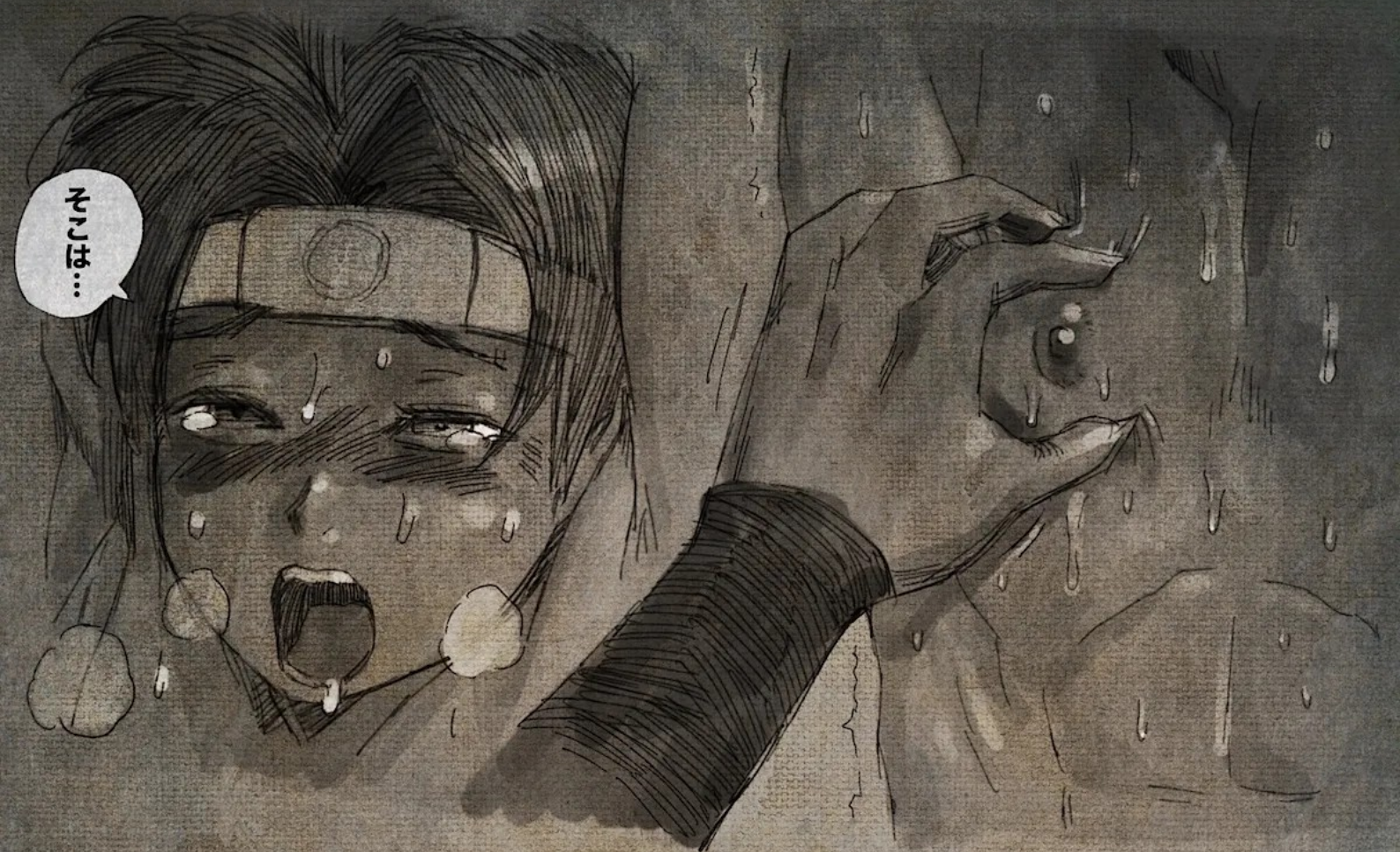
「私を犯してください」と哀願する

一言だけ吐くとしたら自分の手で

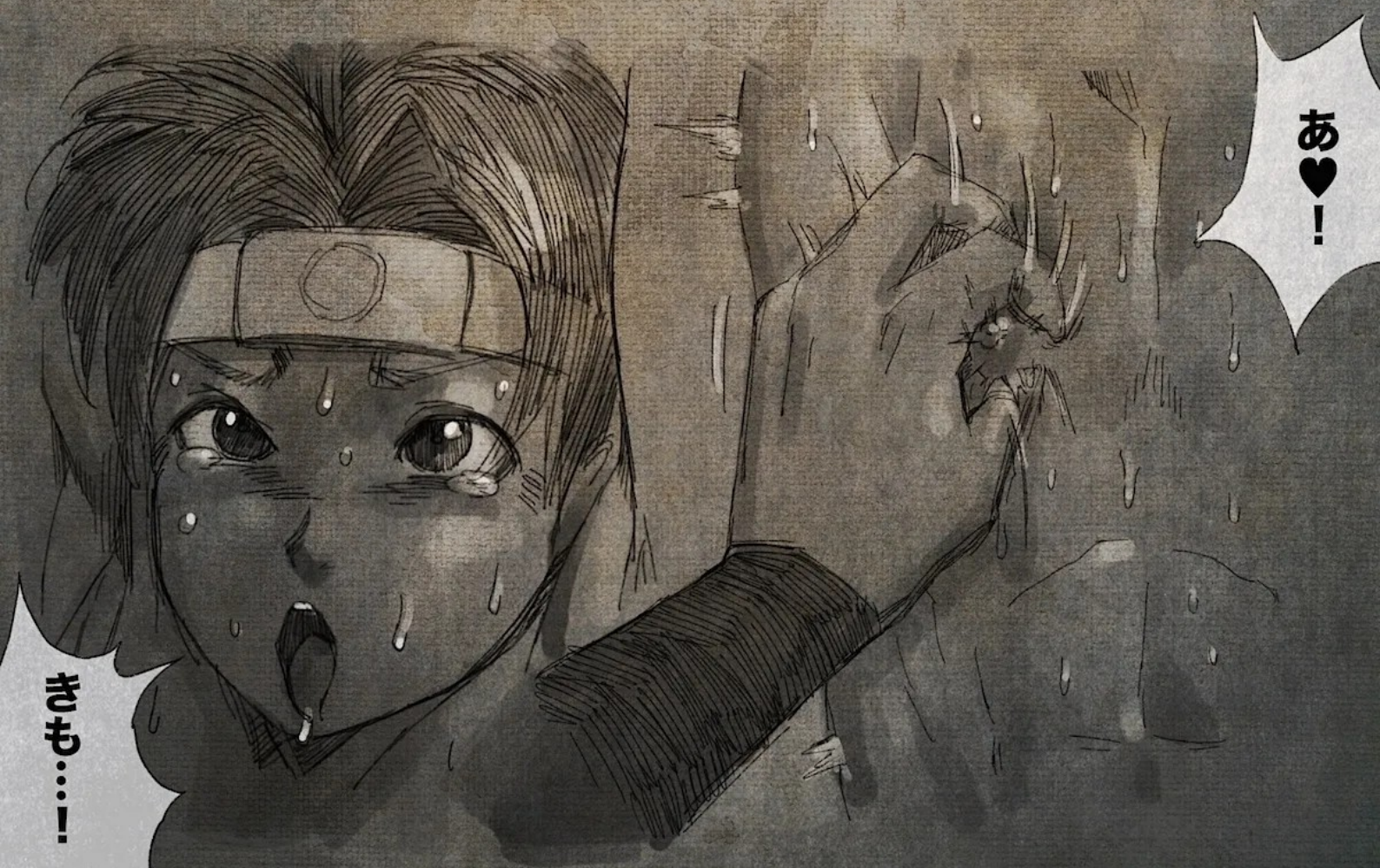
直接あなたの欲望を解消するように

手伝ってあげる。





そっけ...



あ♡!

きゅー...!

A manga-style illustration showing the back of a person with long, dark hair. The back is covered in numerous small, light-colored spots or droplets. A hand is visible on the right side, reaching out and touching the person's back. The background is dark and textured with vertical lines.

ひいひい……うぐうぐ……
いやあああ……

あ……あが……あがが……
あああつ！

いぎっ！

あぐっ！

ああ、わかさまが体を隠すことに
約束した場所は…南東の…

いや、いやだ！
私は絶対に…わかさまを…
裏切らない…

残念ほとんど崩壊したが
最後の精神力でようやく
耐えたのか？

しかし、これからはいっそう
厳しくなるのだ。





東南側だって？
もっと正確に
言ってください。

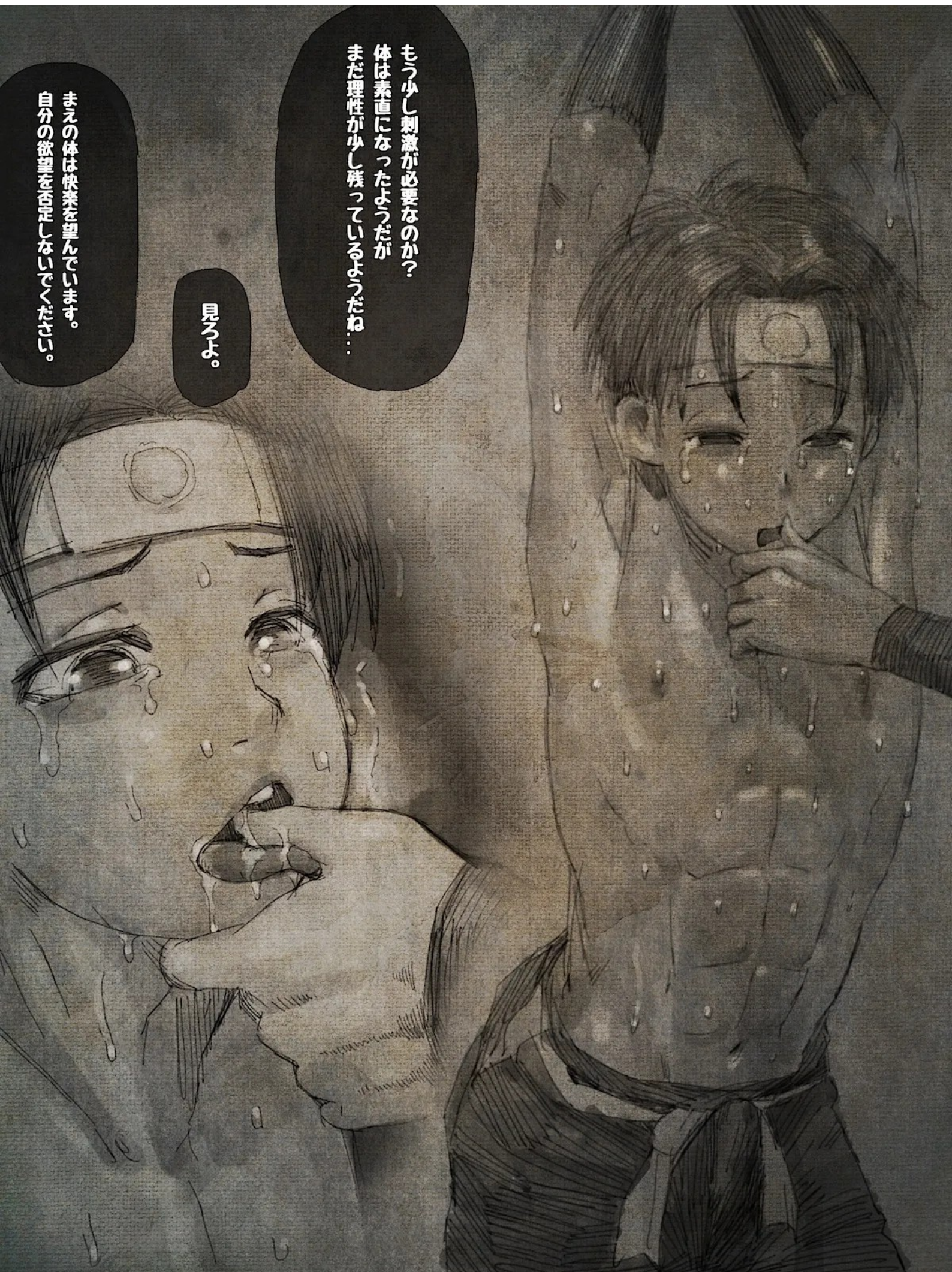
あれ？ 私が…
何を言ったの？

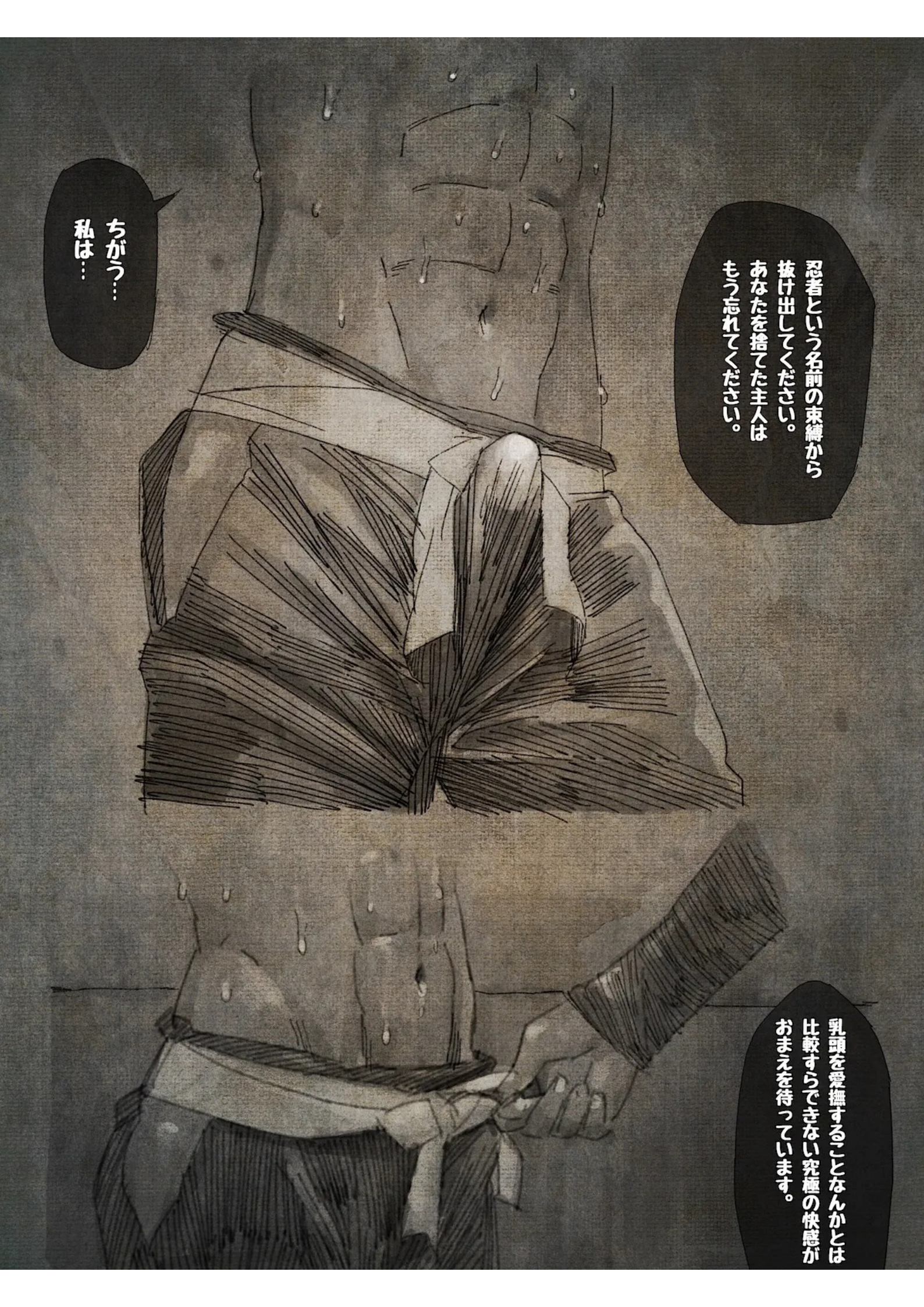
…農家…農家の…
ええ？…ちくしょう…
私がまた何を…

もう少し刺激が必要なのか？
体は素直になったようだ
まだ理性が少し残っているようだね...

見ろよ。

まへの体は快楽を望んでいます。
自分の欲望を否定しないでください。





忍者という名前の束縛から
抜け出してください。
あなたを捨てた主人は
もう忘れてください。

ちがう…
私は…

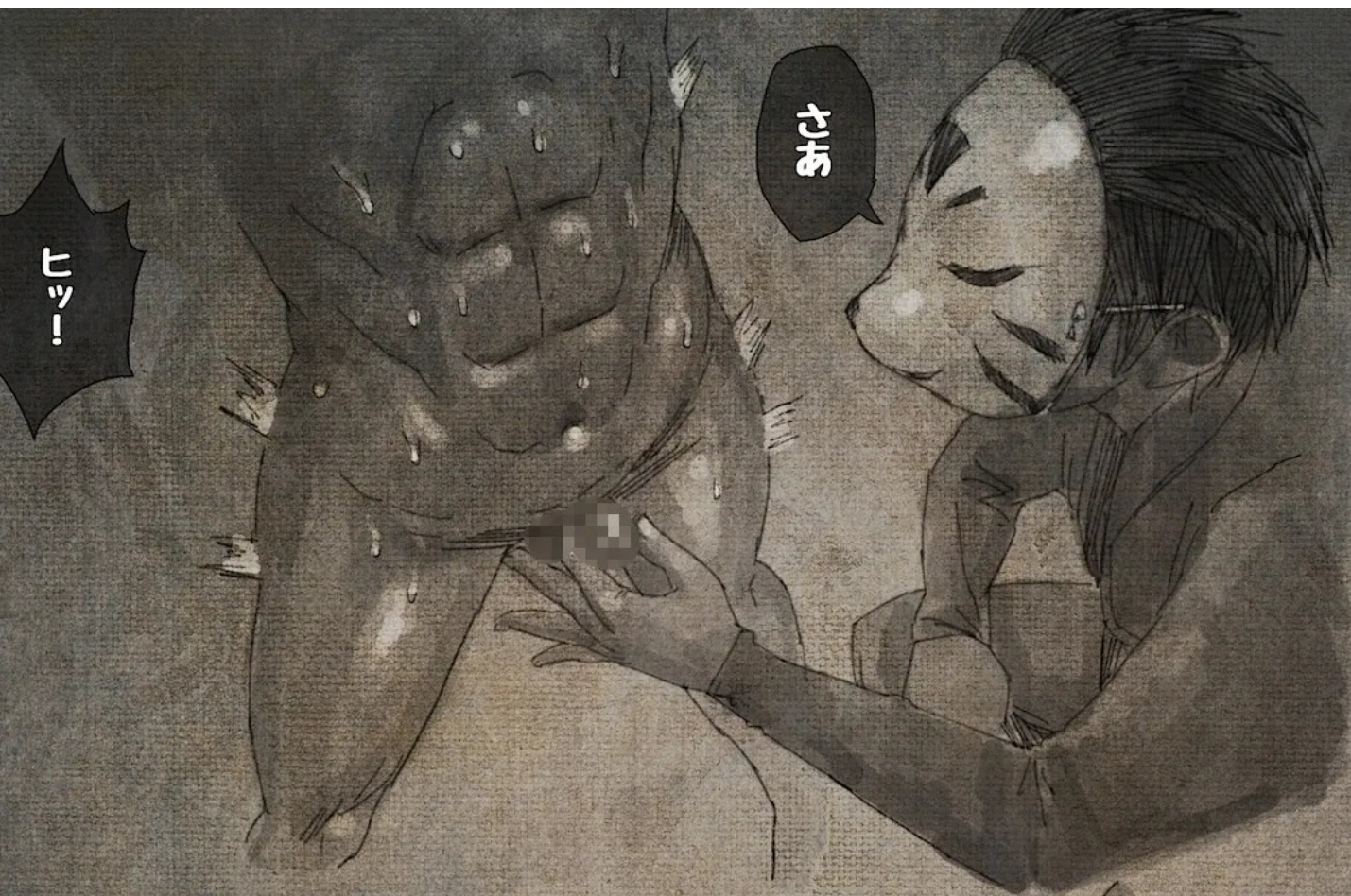
乳頭を愛撫することなんかとは
比較すらできない究極の快感が
おまえを待っています。

私の部下になると
毎日享受できる快楽を...
事前にほんの少しだけ味わうように
してください~~~~

きゅんきゅんきゅん...へへへ

ひっ..





ヒッ!

たま



うあああッ!
ダ...ダメ!

やれやれ、ちょっと触っただけなのに
肛門まで開かれてしまった。

さあさあ、
思う存分行きたく
ないですか？

これ以上は…しかたが！
分かりました！ 話します！ 言うから！
お願い！ お願いします！ ああああ！

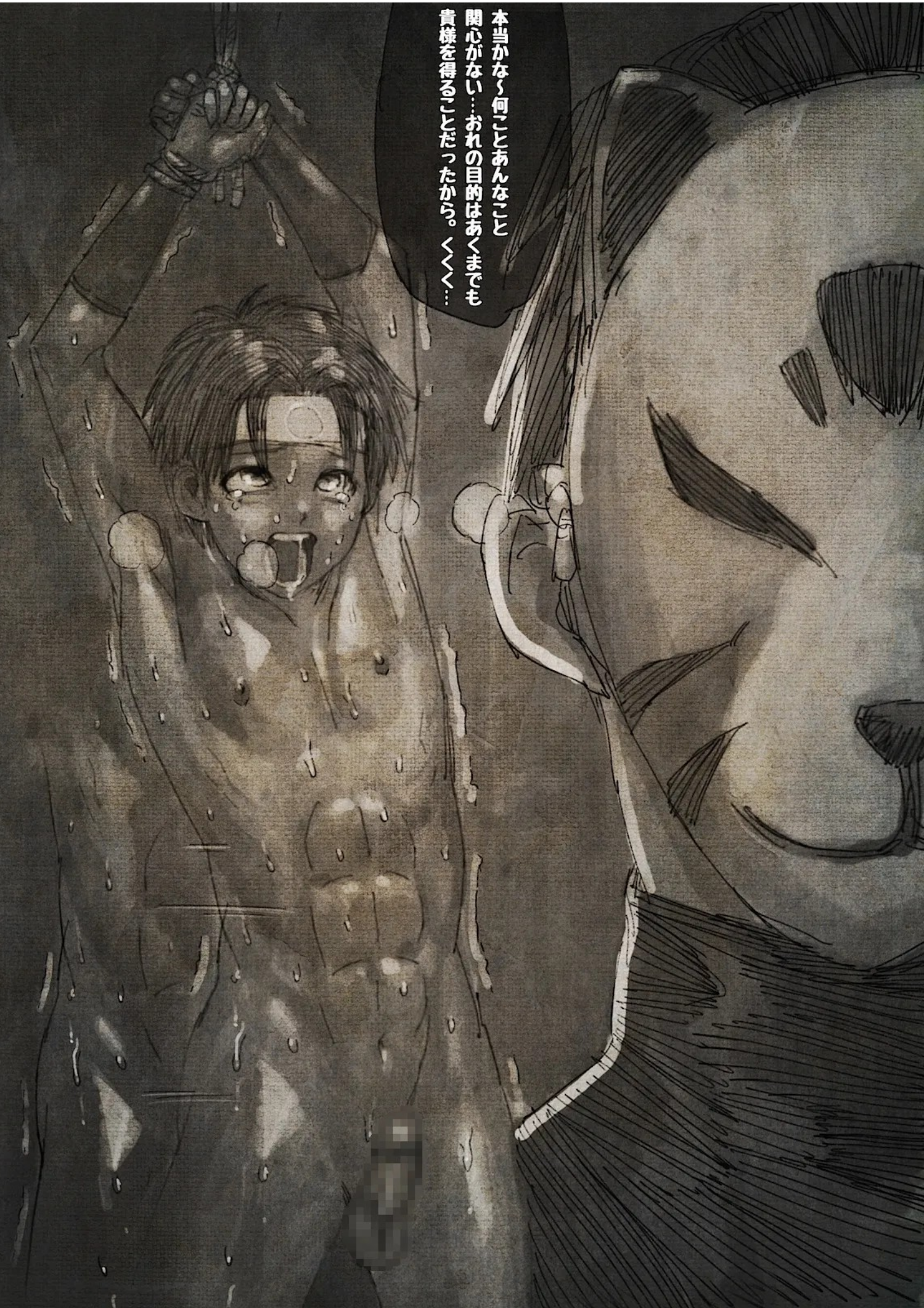


彼は、東南方の村、サクラという名前の
飲み屋に隠れているはずです！
そこに蟄居して、援軍を待つのが
私たちの計画でした！

全部白状したから、お願いです！
頼むから行くことを許可してください！
もうこれ以上我慢できません！早く！

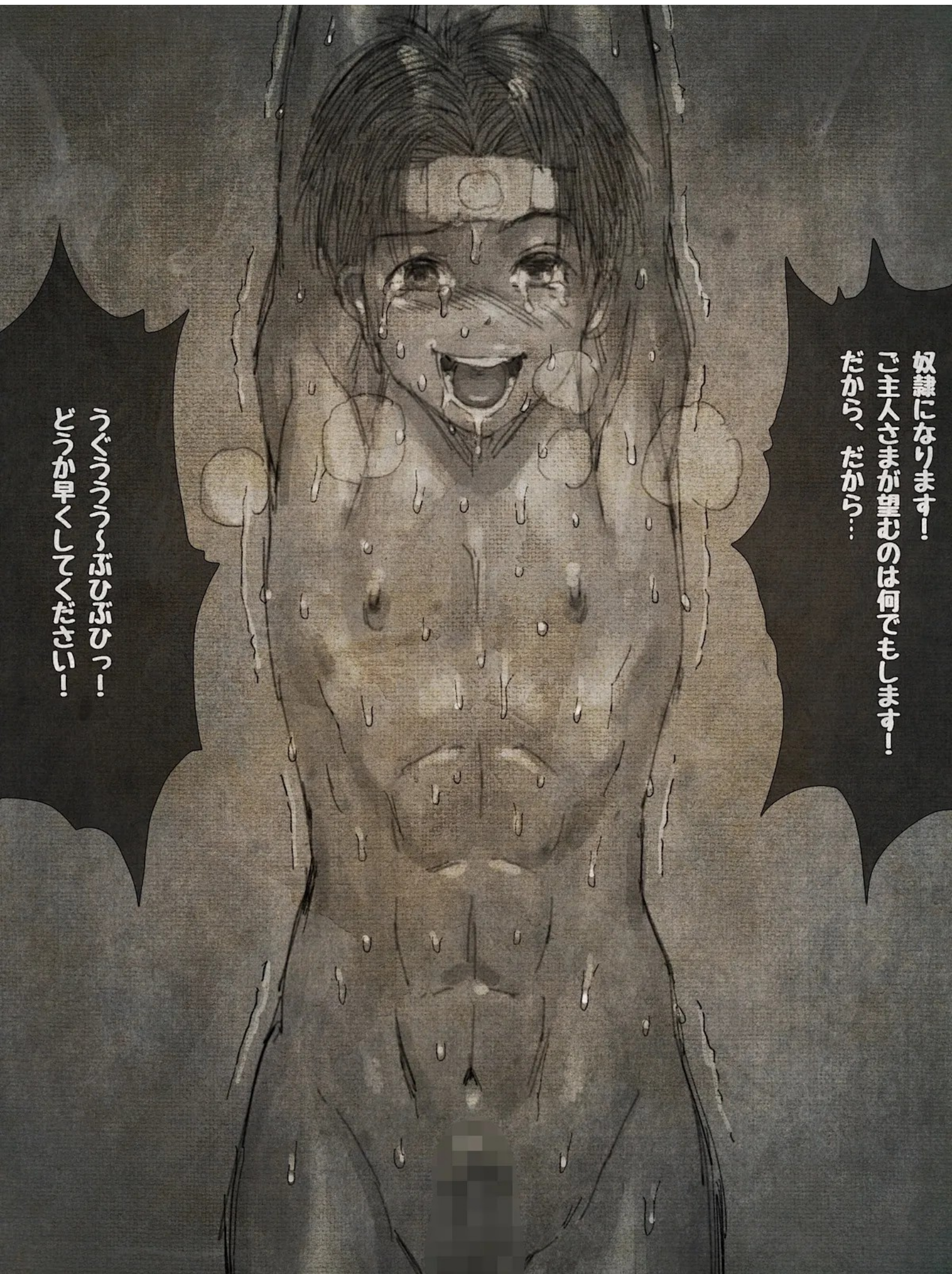


本当かな？何とあんなこと
関心がない…おれの目的はあくまでも
貴様を得ることだったから。くくく…



奴隷になります！
ご主人さまが望むのは何でもします！
だから、だから…

いっぺんいっぺんひびく…
どっか早くしてくだわっ…



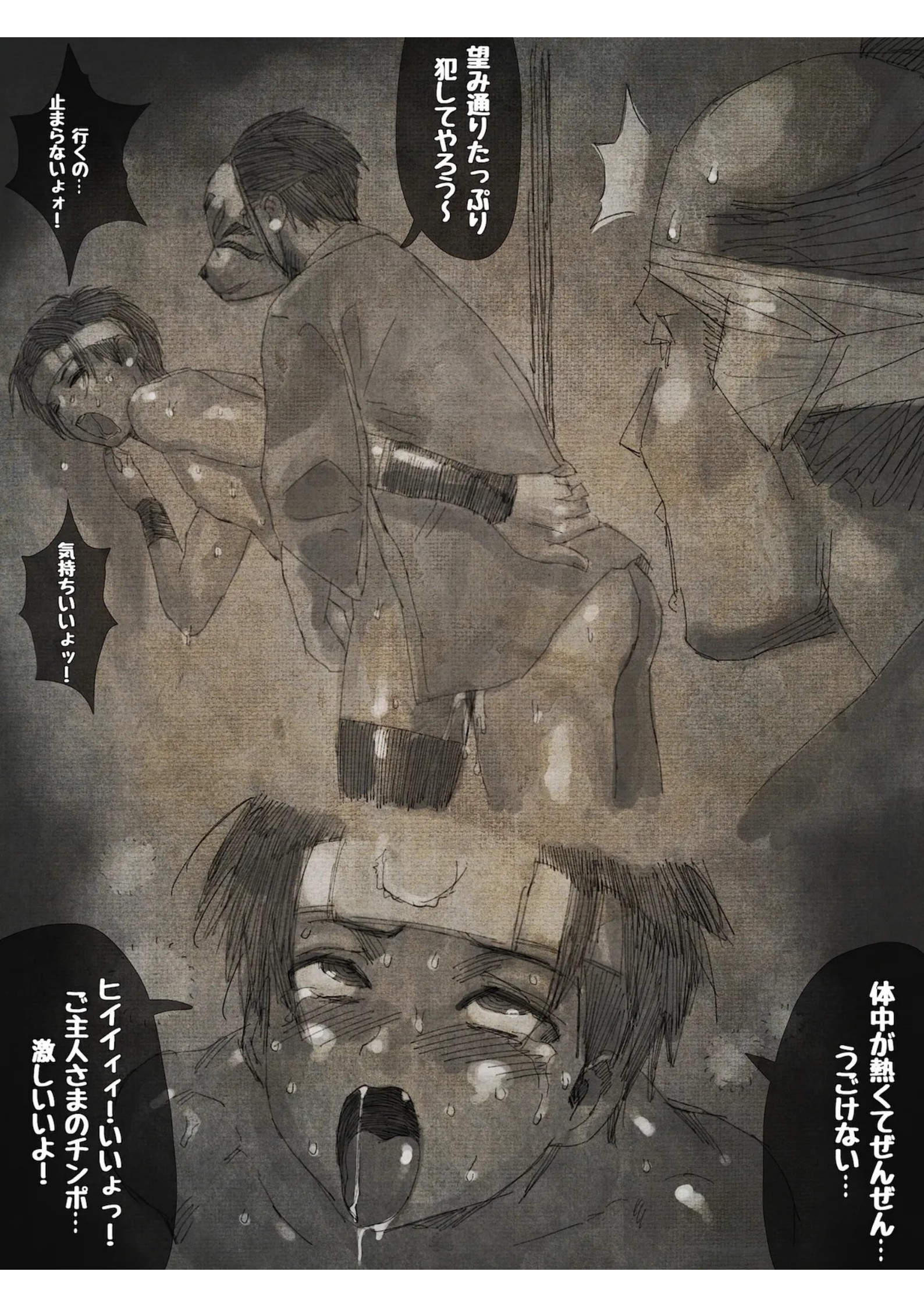
約3時間後

応急処置に止血されたので
ヤツが拷問を受けて
苦しむ姿を見に行つてから

動物のように
泣き叫ぶ姿が
早く見たい。

意外と静かだ、ドアの外に
悲鳴が全く聞こえないね。
まさかもう拷問を受けて
絶命したのか？ ちくしょう！





望み通りたっぷり
犯してやろう

行くの…
止まらないよオ!

気持ちいいッ!

ヒイヒイ…いいよっ!
ご主人さまのチンポ…
激しいよ!

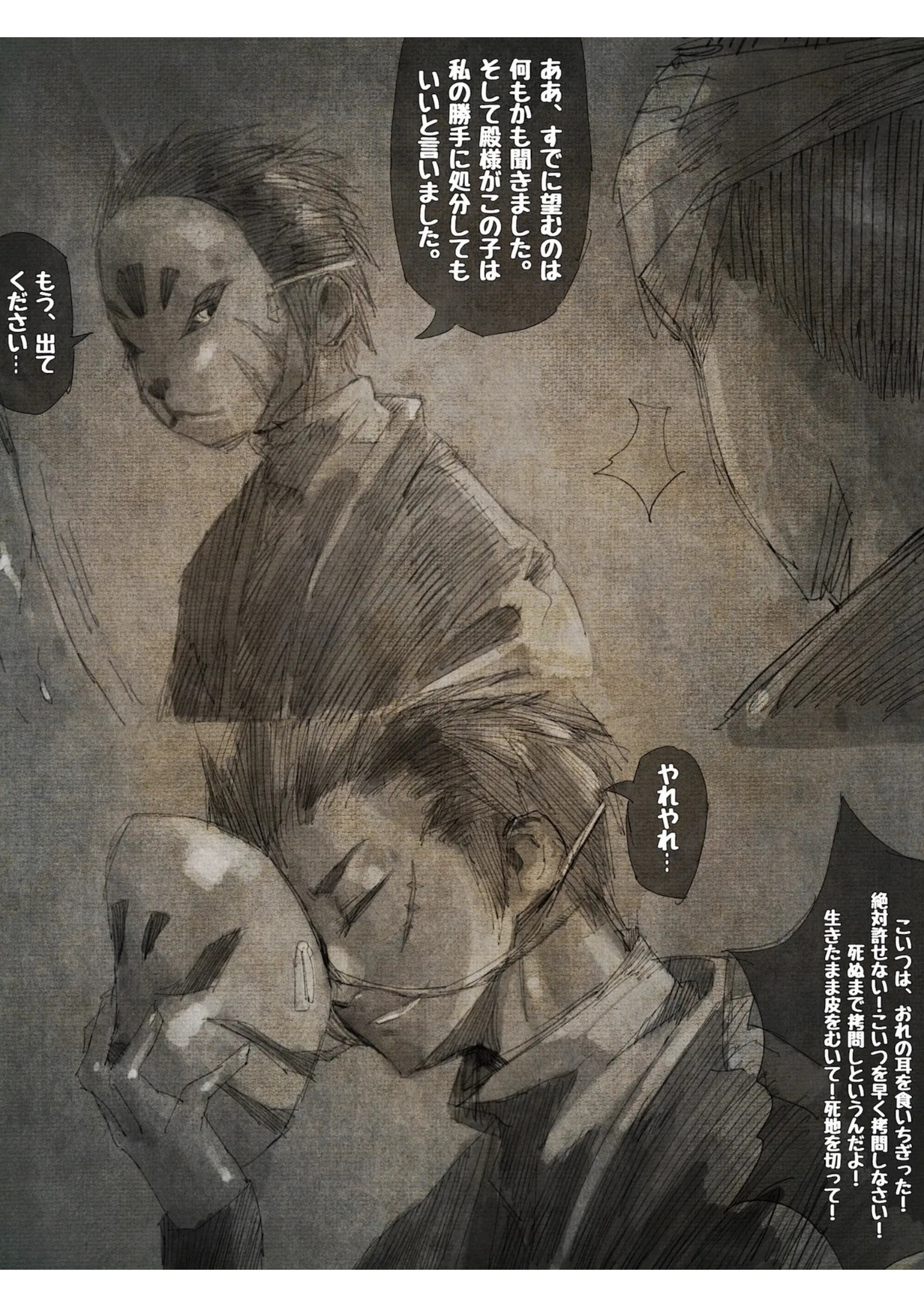
体中が熱くてぜんぜん…
うごけない…

何だこれは！

こいつ苦痛に
呻吟するどころか
むしろひどい快楽に
溺れて目が…



さらに極度に危険なこいつを
縛りでもないし…
狐面やつ一体何を
していたんだ？



ああ、すでに望むのは
何もかも聞きました。
そして殿様がこの子は
私の勝手に処分しても
いいと言いました。

もう、出て
ください…

やれやれ…

こいつは、おれの耳を食いちぎった！
絶対許せない！こいつを早く拷問しなさい！
死ぬまで拷問しなさい！死地を切つて！
生きたまま皮をむいて！死地を切つて！

バカ、こんなように
素敵な宝石をおれか
譲歩するはずがないじゃない

はははっ！

ご主人さまのかおが……
超美少年？すげ……

あなたお殿様に
逆らうつもりなのか？

さあ、両腕を上に向けて
お前のわいせつなチンポを
出してみてください。

は！はいッ！
ご主人さま！



みてください、子犬のように
従順なこんな少年を
拷問して殺すとするなんて
あなた本当に悪趣味ですね

個人的な恨みは
忘れてください。
こいつはもう
私のことです。

間拔けな複数などに執着しないで
あなたもこの名器をたのしんでみてください。
すごいですよ、あなたも必ずこいつの
真価を悟るようになると思います。